

# Hand in Hand

海を渡る鳥は、波間を漂う流木に憩うという。離婚——それは旅の半ばの一つの出来事。  
新たな旅立ちをした女たちはいま手を取り合い、女であるがゆえの偏見と差別に向きあう。  
ハンド・イン・ハンドは、生きやすい社会をめざし支えあう女たちの、流木である。

Vol.249

逐次刊行物

09.11.4

国立女性教育会館  
女性教育情報センター

## 【充実した老後のくらしをつくりたい】

■選挙の応援で全国をまわっていると、いろんな出会いがあります。「声が似ていると思ったら、やっぱり円さんだった」と出てきてくれる人（それも、通りに誰もいない沖縄の石垣島だったり）、「『主婦症候群』、今も持ってます」と20年以上前の私の本を覚えていてくれるなど、ありがたいことです。かと思うと、東京の荒川区では、足が悪く歩行器を押しながら歩いていた人が、「昔、相談に行き、子どもを連れて家を出るかどうか悩んでいた私を勇気づけ背中を押してくれた。それで3歳の娘を引き取れた。娘と二人で大変だったけど幸福に暮らしてきました」と言われ、『よかった』と思った瞬間、「その娘が昨年先立ちました。今、私は一人で老人ホームに入っています。今日、ここで円さんに会えたのは天国の娘が引き合わせてくれたとしか思えない」と。言葉が出ず、手を取り合って二人で泣いてしまいました。

■離婚講座を続けていた頃、全国から相談に来る人がいました。障がいを持つお子さんのいる方も多く、夫は障がいを持って生まれた

子の存在に耐えられず、離婚を突きつけて出て行ってしまい、彼女は働きに出ることもできず、実家は公営住宅に住み生活保護を受けている病弱の母一人。「私の体力ではこの子を見るのはムリ。娘が働けば何とかなるのですが」と

一緒に来た相談者の母が嘆く通り、4歳の男児は多動性障がい一刻もじっとしていない。

■話をじっと聞き、その人の持つ潜在能力が引き出せるようにできたとしても、それだけでは解決できない共通の社会的問題がどのケースにもありすぎて、政治の力でしか解決できないのではとの思いが、私が政界に入った大きな動

機の一つですが、全国で声をかけてくれる人たちに会うたびに、まだまだ道半ばという力量不足の思いにかられます。

■失業率は当時より高く、ワーキングプアの典型の母子家庭の経済状況は悪化しています。子どもをようやく育て終えたいいわゆる「寡婦」は就ける仕事が多くなく、無年金・低年金のため、母子家庭時代より生活苦にあえいでいる人が少なくありません。平均寿命が延び続け、元気で長生きできることは喜ばしいことですが、このままでは貧困に陥る高齢女性が増加し続けることとなります。

■離婚講座を開くきっかけの一つにもなった、北欧諸国での高齢者のための住居・医療・介護・年金を基本にした充実

したくらしを、ぜひ与党となった今、早急実現していきたいと思っています。

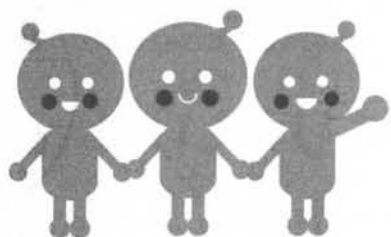
■そのためにも来夏の参院選、全国比例で再挑戦するつもりです。  
(円より子)



画と書：浅野照子

## 日本の 脱！子どもの貧困 子どもHAPPY化計画

## 支援者メッセージ



\*今回は、この活動を応援して下さる方のインタビューの一部をご紹介します。もっと読みたい方、イベント情報などが欲しい方は、ホームページをご参照下さい。  
[www.kodomohappy.com/](http://www.kodomohappy.com/)

「子どもHAPPY化計画」は、ハンド・イン・ハンドの会の30周年を記念して20～30代の若者の有志が集まって設立したプロジェクトです。NPOやボランティア支援者などを繋げて総合的な支援活動を行えるようなプラットフォームを作り、日本に暮らすすべての子ども達がHAPPYに成長できる社会の実現を目指しています。

今年4月25日の「脱！子どもの貧困サバイバルシンポジウム」開催以降、精力的に活動を行い、定例勉強会（毎月第3水曜日）は毎回定員を超すご応募をいただいています。またNPO法人キッズドアプロジェクトの、国内の支援が必要な子どものもとへボランティアの大学生を派遣する「ガクボラ」のサポートを行っています。[4ページ下・囲みを参照]一生懸命がんばっていますので、みなさま、これからもご注目ください！（満木）

## ■すべての人が持てる力を発揮し、 支え合い、構築する社会を目指して

社会福祉法人プロップ・ステーション理事長 竹中 ナミ さん

●1948年、兵庫県神戸市生まれ。小学生の頃から家出を繰り返し、15歳で高校除籍、翌年結婚、ゴタゴタな10代を過ごす。24歳で重症心身障がい児の長女を授かったことから、障がい児医療・福祉・教育について独学。障がい者の自立支援組織活動に参加後、91年「プロップ・ステーション」創設、98年に社会福祉法人格を取得し、理事長選任。エイボン女性年度教育賞、総務大臣賞、アメリカ大使館から「日本の勇気ある女性賞」などを受賞。



## ■世の中がおかしいと思ったら、 ルールや常識を疑ってみる

私には36歳の娘がいます。娘はお医者様の発達診断によると「生後3カ月未満」だそうで、音が耳に入ってもその意味はわからない。全盲なので私のこともわかりませんし、機嫌のいい時と悪い時とで違う声を発します。介護で重度の認知症の家族がいる状況を想像していただけるとわかるかもしれません。「そんなお嬢ちゃんがいて大変ですね」と言われたりするんですが、私はこの娘を授かったおかげで、ものすごいパワーをもらって、素晴らしい人たちとの出会いに恵まれ、たくさんのことを学ぶことができたんです。

娘が小さい時、父が私に向かって「おまえのために、俺がこの子を連れて死んだら」と言ったんです。その時、「こういう子どもを連れて死ななあかん日本って

おかしい！何か間違ってる」と思いました。私は子ども時代にド貧乏な生活を経験しまして、13年間で7回引っ越し、10代の時は家出を繰り返すような不良だったもので、世の中がおかしいと思ったら、まずルールや常識を疑ってみる指向があるんですね。しかも、娘のおかげで世の中のルールについて真剣に考えるようになった。本当にラッキーやったと思います。

昨今、精神的疾患になられる方が多いですが、ルールに合わせられない自分がかかんと違うかと考えてしまう、とても真面目な方ばかりだと感じます。自分の存在をマイナスと捉えてしまわれるのでしょうか。それは悩みを持つすべての人に言えることで、ひとつの出来事をマイナスと思うかプラスの種と思うかによって、大きく人生は変わるんですね。そのことに気づいてほしいし、それを伝えていくのも私のひとつの仕事だと思っています。

## 障がい児を抱えた シングルマザー「背水の陣」

結婚 25 年目で、私は娘を抱えて離婚、シングルマザーになりました。しかし、重度の障がい児と一緒にいては仕事ができない。障がい者の自立支援組織に参加して、「障害があっても働いてお金を稼ぎたい」「やりがいを持ちたい」という人たちの自立支援をする「就労部門」をつくり、そこを独立させて「プロップ・ステーション」を立ち上げました。障がい者の仕事をつくり、自分が食べていくための仕事もつくる。まさに「背水の陣」から生まれた、一石二鳥だったんです。

プロップ・ステーションでは、「チャレンジド（障がい者）を納税者にできる日本！」をキャッチフレーズに、パソコンと情報通信を使って、在宅ワークを中心とした仕事をしています。作業所と呼ばれる日本で障がい者が通う施設は、補助金で職員を雇い、通う人は月 1 万円とかもらって福祉就労に頼っている。でも、それはおかしい。何年か通って勉強すれば、その施設の役割を担えとか、身につけたスキルを活かして外で仕事ができる仕組みにするべきです。だからこそ、私たちの組織をモデルにしないでほしいと思います。例えばプロップでは、スキルを身につけたチャレンジドが次のチャレンジドを育てる講師を務めますが、寝たきりの絵が上手な女性だって、ベッド上からテレビ会議を通してグラフィックの指導ができるのが ICT の凄さです。そうやって身につけた技術を次の人に指導して、組織の仕事量を増やせるようにしていきたいんです。

ところが、それを実現させるには、作業スピードが健常者より遅いですから、量や速さでなんぼという仕事は不向き。クオリティの高い仕事ができるスキルを磨かないとダメで、それはプロから学ぶ必要がある。そうやって全てを逆算して動いています。今すぐ仕事が欲しいからと目先の安い仕事を取ってきってしまったら、仕事の単価は安いわ、作業スピードが遅くて量はこなせないわで、マイナスのスパイラルにはまってしまう。当然、二次、三次請けの仕事はだめで、発注元であるクライアントに価値を評価していただき、直接取引する。そのための営業に私が専念できるのも、パソコンできっちり仕事をこなしてくれる人、事務所を守るスタッフなどがいてくれるおかげです。

とはいっても、実は私にはコンピュータの知識は全くなかったんです。いろんな所に協力をお願いしていくなかで、ある日突然、かじったリンゴマークの大きな箱がいくつも届いてびっくり。ありがたいことにアップル社さんが Mac のパソコンを寄付くださったんですが、当時はそれがどれだけ高価なものか、ソフトを入れて使うということすら知らなかったんですよ。

## 経済の活性化には モチベーションがすべて

プロップを社会福祉法人にしようとしたとき、仲間のお金を集めても 100 万円に満たなかったのに「施設を持たない二種社会福祉法人の設立には 1 億円の基金」が必要でした。私の話を聞いたマイクロソフトの社長は、「アメリカではビジネスベンチャーとソーシャルベンチャーがしっかり組んで社会に役立つ技術が次々と伸びている。日本ではまだまだ先のことと思っていたけど、あなたがしようとしていることはソーシャルベンチャー。だから投資します」と、1 億円を投資してくださったんです。びっくりする金額でしたが、決して卑下することはない、誇りを持って結果でお返ししようと思いました。「応援してよかった」と言われることが、「みんなが見てくれている、期待されている」という、メンバーのモチベーションにもなります。

私は自分の役目を、人と人をつなげる「メリケン粉」やと思っています。メリケン粉は関西人の大好きなお好み焼きの「つなぎ」。重度の障がい児のおかんがこうなったというモデルとして発信すれば、「うちもできるかも」と思ってもらえるかもしれない。そしていろんな所に飛び火していったら、今度はそういうグループと横につながっていけたらと思います。今までの政治、福祉は、ほとんどがヒエラルキーをつくってきていて、下にいる者は常に上に委ねたりぶら下がったりしていたわけです。でも、そうじゃない。納税者になれるんです。政治が、行政がおかしいと言う前に、自分たちでモデルをつくって、それに沿った政策や制度について発信する側になろうよ、ということです。

障がい者というハンディも、貧困者というハンディも、チャンスにできます。経済の活性化は人のモチベーションで決まる。産まれてよかった、生きていてよかったと思えることが原点やと思うんです。「モチベーションなんてないんでしょ？」と思われるであろう重度の障がい者たちが、モチベーションさえあればやれてしまうことを見せる、この快感（笑）。人の力が眠らされていることほどもったいないことはありません。「私を働かさない日本はもったいない！」の精神でいきましょう。私の父は 84 歳で亡くなる前に「おまえがこんなに支援者に囲まれて頑張って、あの時、連れて死ななくてよかったよ」って言うてくれました。

どんなにハンディがあると思える状況も、それは個人ではなく社会の問題だと気づければ、必ず解決策が見つかります。「チャレンジド」は、そういう意識改革の言葉やと思っています。力を合わせて「すべての人が持てる力を発揮し支え合う、ユニバーサル社会」を実現しましょう。 [取材・執筆／羽塚 順子]

## ■子どもの貧困を解決する言葉のチカラ 親、子、地域をつなげるコミュニケーションの可能性

全司法労働組合員 遠藤 啓示 さん

●1959年生まれ。中央大学文学部哲学科卒業後、家庭裁判所調査官として勤務しつつ、全司法労働組合に属して裁判所の内外で活動・発言を行っている。また、親子関係のコミュニケーションを改善するツールとして「親業（おやぎょう）」に1980年代から注目し、インストラクターの資格をいち早く取得。臨床心理士等の資格を有し、司法福祉学会をはじめとする各種学会に所属し、犯罪心理学会では研究発表を行う。



### ■誰でも子育て初心者

長年、私は少年の非行からの更生や夫婦トラブルの解決のお手伝いしています。どうしてこの道を選んだのかはハッキリとしませんが、子ども時代の体験が関係していると思います。私は、「素直さ」を求められる家庭に育ち、親の言うことを聞き、親の言う通りに行動する「良い子」でした。でも、ある時、親の求める「素直さ」は「従順さ」だとわかったのです。「素直さ」は、自分の感情や考えをありのままに表現する「自由」に近いものであるはずですが、ところが、親は自由に行動するよりも、従う子どもを望んでいました。確かに、親の言うことを聞いていれば、間違いは少ないのかもしれませんが、ただ、「従順さ」のなかに幸せがあるかという疑問が残ります。可能性を制限するだけではなく、子ども自身の満足が置いていかれるからです。

子育ては大変です。見本はなく、教えてくれる人もおらず、自己流で子育てをしているのが大半だと思います。だからこそ親は、地域、学校、社会、友人など

と一緒に子育てをして欲しいのです。社会が育てるという視点が必要だと思います。

### ■親子をつなげる コミュニケーションのコツ

かつて私は、子どもと親がすれ違うのは、世代が異なるので仕方ないと思っていました。しかし、「親業（おやぎょう）」を学んでから、世代間は超えられると確信しました。親業訓練インストラクターが教えているコツをお話しましょう。まず、話を聞く時は、能動的に聞きます。うなずくだけでも良い。大切なのは、この段階で相手の話に評価を加えないことです。良い悪いと決めつけたり、勝手に解釈をしたりしないで、口を挟まず聞いていきます。十分に聞いたところで、初めて主張します。決して、自分の意見を押し付けるのではなく、自分の意見を伝えることに徹します。話す時には「私」を主語にすると良いでしょう。「アンタが悪い」ではなく、「私は〇〇と思うよ」という具合です。誰でも頭ごなしに言われるのは気分が良くありません。



### 教育格差に立ち向かう！

### 学生ボランティアによる 日本の子ども支援チーム【ガクボラ】にご注目ください！

お茶の水女子大学文教育学部の耳塚寛明教授の研究調査から、「保護者の年収が高くなるにつれて学力テストの点数が高くなる」、「保護者の年収が高くなるほど家庭での子どもの学習時間が長くなる」という結果が出ました。親の貧富の差が教育格差につながっていることを顕著にあらわす結果です。

母子家庭では、ほとんどの母親が働き、家事も子育ても行う多忙な生活を送っています。子どもの勉強を見てあげる時間がとれない、塾や通信教育にけるお金もない、と悩んでいる方も多いと思います。

そんな中、「こどもHAPPY化計画」のメンバー団体である、特定非営利活動法人キッズドアが独立行政法人福祉医療機構の助成金を得て、学生ボランティアを主役とした日本の子どもを支援する【ガクボラ】をスタートします。国内の子どもを支援したいという大学生や専門学校生をボランティアとして登録し、支援が必要な施設や家庭、また地域の学校につなぐことで、多くの子どもたちに無料の教育支援や様々な体験

活動を提供しようという試みです。

具体的には、児童養護施設と連携してボランティアで家庭教師をしてもらう、母子家庭支援団体と連携して無料の勉強会を開く、公立小中学校の長期休暇中に学校で無料の学習&体験キャンプを開催するというようなことで、母子家庭への無料家庭教師の派遣なども考えています。11月からはいよいよ大学生ボランティアの登録を開始し、教育支援が必要な施設、団体、学校とのマッチングも始まります。

【ガクボラ】は困難な状況にある子どもたちと、学生との交流を活性化させることで、子どもたちの「やる気」を出させる、学生たちも子どもとの触れ合いをとおして、今の子どもたちを巡る社会や、それを取り巻く環境を実感してもらうことも大きな目標です。

親の収入に関わらず、すべての子どもが十分な教育を受けるチャンスを得る試みとして、【ガクボラ】の今後に期待してください。

■【ガクボラ】に関するお問合せ▶▶▶内閣府特定非営利活動法人キッズドア【ガクボラ】事務局■

〒103-0027 東京都中央区日本橋3-2-14 日本橋KNビル4F ✉gakubora@kidsdoor.net



「あなたは〇〇だ」と評価を下すよりも、「私は〇〇と  
感じる」と、私の意見や気持ちをいうのです。

そして、この「私メッセージ」には、行動、影響、  
感情という三要素を入れます。感情だけでは、相手に  
十分に伝わらないばかりか、感情だけが返ってきて、  
対立がうまれるかもしれません。

子に「ムカつく」と言われると、親もムカツときます。  
しかし、「ムカつく行動」がどんなもので、「どんな影  
響を与えている」か、それで「どんな気持ちになっ  
ている」かをちゃんと話せば、メッセージは正確に伝え  
られる可能性が高まります。伝えたいこともキチンと  
受け止められ、互いが話しやすくなるはずです。この  
コミュニケーションのコツは、子どもと接触する貴重  
な時間の質を高めてくれると思います。

## 「地域」を超えて

子どもにとって、親は面倒くさい存在です。しかし、  
いつも側にいて、最後まで支持してくれるとしたら、  
それは信頼や安心となり、子どもに生きる力を与えま  
す。家の外にも子どもと親をサポートしてくれる味方  
がいるとしたら、更に心強いでしょう。支援機関だけ  
ではなく、地域の中に子どもたちが集える場所がで  
きたらと願います。コンビニやレストランの店長に、保  
護司や相談役になってもらえたらどうでしょう。その  
店でアルバイトができたなら、「溜まり場」は「教育の場」  
になるかもしれません。生活の多様性が進んだ現代は、  
自治体や行政区などの地理的な枠組みを超えて、子ど  
もと親をサポートできる社会的資源があるはず。家  
の外にも味方がいるという安心と信頼が、子どもの  
心の貧困を救うと信じます。〔取材・執筆／小山訓久〕

## 不十分な言い方

子「ムカつく！」→親「ムカつくとは何よ！」

親「ご飯を食べなさい！」→子「関係ねえよ」

親「アンタは返事もできないの!？」→子「うるさいな」

\*

自分の主張を言っているようで、実は不十分。キチン  
と自分の言いたいことを含めていないうえに、相手  
にも十分に伝わっていない。

## 親業が教えてくれるコミュニケーションのコツ

「ムカつく！」の代わりに →「部屋に入られると、私  
の生活が覗かれるようで恥ずかしいの」

「ご飯を食べなさい！」の代わりに →「ご飯を食べ  
ないと、元気もでないし、健康にも悪いので心配だよ」

「返事もできないの!？」の代わりに →「私は、あなた  
が返事してくれないと、無視されたようで寂しいわ」

\*

問題となっている“行動”を、非難や判断を除いてそ  
のまま伝える。そして、その“影響”を具体的に話し  
てから、“感情”を正直に伝える。相手に考える機会  
と聞く時間ができ、メッセージの誤解が少なくなる。

1. 行動:「部屋に入られる」「ご飯を食べないと」「返  
事してくれない」
2. 影響:「私の生活が覗かれる」「元気がでない」「健  
康に悪い」「無視されたようで」
3. 感情:「恥ずかしいの」「心配している」「寂しい」

## 弁護士一〇番

《回答者》

弁護士 竹川 幸子

TEL 06-63393-1331

## 不貞をした親は親権をとれないか

Q 結婚して9年、3人  
の子どもがいます。  
半年前から同僚の男

性につき合うようになりまし  
た。夫はイライラすると子ども  
に怒鳴ったりして、以前から合  
わないところがありました。離  
婚して同僚と結婚したいと考  
えています。夫には、好きな人  
がいること、夫から心が離れて  
いることを告げました。

夫は子どもの親権を夫が取  
ることを条件に、離婚に同意  
し、離婚届に署名しました。

夫の会社は忙しいけれど、理  
解のある子育て可能な環境だ  
と思うし、近くに夫の両親も住  
んでいるので、協力してもらえ  
ると思います。

でも、私も結婚前から今の会  
社に正社員で働いていて、出産  
の際も産休と保育園で子育て  
できていますし、引取って育て  
たいのです。

私の浮気で離婚する場合、親  
権はとれないのでしょうか。今  
は夫が親権を取っても、将来、  
親権を私の方に変えることは  
できるのでしょうか。

A 前から問題があった  
とはいえ、同僚との関  
係が離婚を決定するき  
っかけになったのでしょうか

一度は父を親権者とする離  
婚に合意していること、夫の  
側に子どもを育てる条件があ  
ることも不利な事情ですが、  
あなたが子どもを育てる方が  
子どもの利益だという事情が  
あれば親権を主張してもいい  
でしょう。例えば、今まで子  
育てはほとんど母親が担って  
きた、子どもは再婚を承知の  
上で母との暮らしを望んでい  
る、その他有利な事情が多け  
れば、あなたが親権をとれる  
可能性はあります。

ただ、親権でもめて離婚が  
できないという可能性は残り  
ます。離婚後の親権者の変更  
申し立ては可能ですが、父の  
養育に問題がなければ簡単に  
認められるというわけではあ  
りません。

離婚後

定年後

経済  
悪化後

《不連続シリーズ④》

# この頃の 「仕事・就職 事情」

今回は、9年前に離婚した、11歳の女の子のお母さんからの寄稿です。現在の仕事である“郵便局でのアルバイト”自体は、結婚前から婚姻中も含めてずっと続けてきているけれど、子どもの将来のためにも今、正社員を目指して大奮闘中!

正社員へのステップアップには、試験に合格するだけでなく、郵便局の商品の売り上げ成績が大きく影響するのだとか。「年賀はがきをお求めになる方、ぜひご協力ください」とのことです。会員同士で、助け合えると素敵ですね。【右ページ下の囲み参照】

目指せ!

## 郵便局アルバイトから正社員へ STEP UP!

ケース4

離婚後

京都府・

46歳/寄稿

### 《パーソナルデータ & 家計簿》

※30歳で結婚。7年の結婚生活を経て、9年前に37歳で離婚。当時、長女は2歳でした。

※慰謝料なし。調停で養育費は決めましたが、振り込まれたのは2回だけです。

※月収は、手取り129,800円。他の収入は、4ヶ月ごとに振り込まれる月額24,560円の児童扶養手当。貯蓄は、ほとんどありません。

※毎月の主な支出は、だいたい下記。ザルのようなお財布で、あるだけを使い切っています。

※アルバイトですが、1日8時間勤務なので社会保険には入っていて、助かっています。

《※》社内のカatalog販売の売り上げも成績になるので、お米やハム、スイーツなど日常の食品から、敬老の日・母の日・子どもの日などのプレゼント、手土産などをこれで購入しています。実際には、もっと使っているかも。

お中元やお歳暮などの際に、声をかけていただき、私経由でご利用いただけると嬉しいで〜す。

家賃	40,000円
水道・光熱費	15,000円
電話料金	8,000円
学童費	20,000円
子ども通学定期	5,000円
交際費	20,000円
食費・その他の日用品や雑費	21,360円
社内カatalog販売より購入《※》	25,000円

よかった〜、読んでくださって!! ハンドに出会うと絶対、人生変わります。私は人生を7年の区切りごとに考えています。7年前にハンドの会に入会し、みなさんと出会い、種蒔きをした信頼が花咲かせ、今は毎

日すばらしい楽しい人生を送っています。今、これを読んでいただいている方にも、お会いするのが楽しみです。早く会いたいなあ。

明るい書き出しとなりましたが、私も入会当時、泣いてばかりで、うつと診断され、薬も服用しておりました。が、こんなに今ではあつかましく、前に出て行く人となりました。それはね、ハンドの会合に来ていただくとわかります! たくさんの人と会い、たくさん学んでください。どうしようと悩まないで、まず会いに来て、思いっきり泣いてください。心が軽くなりますよ。まず一歩からです。

離婚しないという方法も『あり』です。するも『あり』です。まず、心の整理に来てください。皆同じ思いを通過してきた者たちですから、わかります。味方だもの。

### ●たくさんの情報と選択肢を持とう

家計に関しては、ここ2年でこのお給料となりましたが、バイト時間の短いときは、月収が10万円にも満たないこともありました。まだ時給が700円だった頃、幼い娘が熱を出したり、お盆・お正月で保育園が休みの時には、1時間2,000円もする場所に預けなければならず、今まで生きてこられたのが不思議なくらいの収支のこともありました。でも、先のことを心配して、不安ばかりを抱えていたら、かえって負の気持ちを引き込んでしまいますからね。

みなさんは家賃がネックと思われるようですが、私が住んでいた“間借り”という方法だと安いです。6畳一間で、トイレ、台所、冷蔵庫も共同ですが、光熱費なしの3万円でした。家庭内がすごいことになっているあなた、まずは第一歩からです。探して住んでく

ださい。住めば都です。仕事やら、広いアパートやらは、後からドンドンついてきてくれます。あせるから暗くなる。暗くなると、ますます悪い方向に進みがちです。

この間借りで学んだことは大きいです。京都は学生の町なので、昔は学生用の間借りがほとんどでしたが、今はワンルームマンションに移行し、残った間借り部屋を中国人留学生が借りているケースが多いようです。私も中国人とのシェアで、文化の大きな違いに、国際的な学びが多くありました。

市営・府営住宅の抽選には、4年間応募し続けて、4年前に当たりました。子どもが中学に上がるまでにはと、10年先を見込んでいたので、ラッキーでした。今は、職場から近い、窓から嵐山も見え、駅前という好立地条件の市営住宅に住んでおります。昔を思えば、なんとセブでしょう。遊びに来てね。実際にはここには書ききれない、もっと語りたい多くのことがあります。ぜひ、実際の私の生声でお話してみませんか？話すことで違う生き方を発見し、多くの情報と選択肢を持ってみましょうよ！

## ●これからのために 力を貸して下さい

今回、これからの生活を考えて、今のアルバイト生活を本雇いへと移行したくて、みなさんにぜひご協力いただきたく、お願いしようとペンを取りました。そろそろ保険にも入りたいし、高校費用は円さん（民主党）が無償化を実現してくれそうですが、子どもには「大学という道も選択『あり』だよ」と言ってあげたい。

結婚前から17年間、郵便局で給与計算やクレーム対応、事務一般をアルバイトとしてやってきましたが、2年前に郵便局が民営化して、バイトから社員への登用のチャンスがめぐってきました。ようやく今年、1次テストを通過、2次も受け、今は結果待ちです。

それには、カタログ販売や年賀状・暑中見舞いハガキの販売実績も問われます。年末のこの時期に、ぜひ、年賀状の購入をたとえ10枚でもご協力ください。ま

た、お歳暮なども、私の扱いで郵便局のカタログから贈っていただけると、助かります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## ●ハンドの仲間に 元気をもらおう！

今の私のハンド活用法は、「元気ちょーだい!!」とメール発信すると、すぐに一人で生きてきた強い方々のメールが返ってきて、スポーツエネルギードリンク剤のように、パツと栄養注入!!

たとえば、私の正社員に向けての1次テストの当日、テスト会場の近所の大阪ドーンセンターでは、大阪ハンドの会の会合が開かれていました。参加者の方に「今からテストが始まる！ 応援お願い!!」とメールを送ると、こんな言葉が返ってきました。

「本日の参加者のメッセージより。今は、どん底だったり、足踏みをしていても、必ず前に進んでいく。ダメなことが悪いことではなく、それで気づくことがあったり、自分の人生にとってはそのことが糧になる。流れに逆らわないのも時にはいい。焦っても全然進まなかったのが、開き直ったら思わぬ方向に道が開くこともある。しんどいときは、いつでも来て。仲間がいるから。試験、頑張ってくださいね。」

私は医者いらずだ。幸せ者だと思っています。医者より確実な、信頼おける仲間がいて、元気もらってバリバリ働いています。これからも負けないぞー！

これからもハンドの方と語りたい。私も少ないですが、生きてきた経験、楽しみ、あります。そして、縦の関係、ハンドの先輩の老後を知るのも勉強です。最近、読んだ本、稲盛和夫「人間の本質」、大平光代「今日を生きる」、ロンダ・バーン「The Secret」についても語り合いたい。

みなさま、お体、気をつけてください。京都はインフルエンザが流行っていて、休校がすごいです。私は、菌のない隙間を縫って飛びまわり、忙しさを楽しみながら、時々立ち止まって京都の景色に癒されています。



ご協力  
お願い  
いたします

2010年・トラ

◎「年賀ハガキ」のお申し込みは、下記へのメール（[ezweb.ne.jp](mailto:ezweb.ne.jp) アドレス）か、お近くの郵便局の申し込みハガキで。

✉ [ezweb.ne.jp](mailto:ezweb.ne.jp)（お問い合わせもこちらへ）

◎郵便局の申し込みハガキをご利用の場合は、上部の郵便番号を消して「[ezweb.ne.jp](mailto:ezweb.ne.jp)」と書き換え、「郵便事業株式会社宛」として、申し込み枚数を記入して、ポスト投函して下さい。

◎料金の振込先は、年賀ハガキと一緒に送ります。（振り込み手数料は必要ありません）

◎東京ハンド、大阪ハンドの方は、忘年会などへ持って行きます!! 送付希望の方は、その旨を書き添えていただければお送りします。

◎お歳暮やギフトにご協力いただける場合は、ご一報ください。



# 告知板

●近々の会合やイベントのお知らせです。  
※申し込みや問い合わせ方法です。  
★お世話係さんからの近況報告。



事務局便り

## ■ INFORMATION ■ お申し込みは、ハンド事務局まで

### 離婚セミナー「情報とネットワークで元気になる」

- 12月5日(土) 15時～17時
- 講師:円より子(ハンドの会代表)、鴻木葉子(stuff)
- 場所:麹町区民館にて(千代田区麹町2-8)  
地下鉄「半蔵門」駅または「麹町」駅から徒歩5分
- ◎参加費1,500円。離婚前後の精神的ケア、再就職の仕方やひとり親家庭への支援サービスについて。

### みんな集まれ! 2009年忘年会

- 12月5日(土)18時～20時
- 参議院議員宿舎第1会議室
- ◎参加費1,000円(飲食費)。
- 古くからの会員も集まる「同窓会」。大先輩の経験談も聞けるので、初めての方もご参加を!

## ■ ATTENTION!! ■ お詫び

●ハンド事務局のパソコン不調のため、この3カ月の間に入退会された方のデータが把握できないまま、今号を送り出した。退会したのに今号のハンド誌が送られてきたという方、申し訳ありません。お手数をおかけしますが、該当する方は事務局までご連絡いただくと幸いです。

### 大阪:

〒

☎

03-3261-1835(東京事務局)

### 大阪ニココ離婚講座

原則、午後1時半～4時半まで、ドーンセンター(大阪市中央区大手前1-3-49 06-6910-8500)で、申し込み不要。  
参加費は、講座:1500円、ミニ講座:500円  
●12月5日(土) ミニ講座  
テーマ:「離婚裁判

#### ——闘いの最中とその後——

講師:新田裕子さん(裕芽さん)  
自身が高裁まで闘った離婚裁判を振り返り、渦中での経験から学んだこと、感じたこと、判決確定後の手続き、現在進行中の精神的リハビリなども含め、離婚係争に関わる体験談を話していただき、参加者の皆さんと一緒に考えましょう。  
※お子様連れの方は、事務局までご一報を。

### 例会

原則、奇数月の第4土曜日の午後。  
竹川法律事務所(大阪市淀川区西宮原1-4-15-602 050-5803-8840)  
またはドーンセンター小会議室。  
※変更の可能性があるのでご確認を。  
●11月28日(土)午後1時半～  
●1月23日(土)午後1時半～  
ともに@竹川法律事務所。



### Letter Box

～当事者の立場から発信を～

★民主党政権が実現して、円さんはじめ関係者の皆さんもお忙しいことと思います。少しでも世の中が良い方向に動き出してくれることを願っています。

これまで、「政権と党にならなければ実現できない」と諦めてきたことが沢山あると思います。諦めさせられてきたといってもよいかもしれません。建設的な意見であれば、実現の可能性があることを励みに、是正が必要なことに対して声を上げて行きたいですね。シングルマザーに関連する問題、女性に関連する問題、男女を問わず( )

### ◎各種ご連絡は下記へ◎

03-3261-1835

03-3261-1836

info@gendai-kazoku.jp

※セミナー・講座・お得情報のメール配信希望者は、登録したいアドレスから、件名「メール配信希望」+氏名をメール送信!

( )みなさんに関連のある問題など、少しでも疑問や問題意識を感じたら、ハンド会員にも当事者の立場から発信して欲しいものです。(大阪/渡部Kozue)

### 東京:事務局

03-3261-1835

info@gendai-kazoku.jp

### 例会

●11月21日(土)18時～21時  
@麹町参議院議員宿舎南棟2F議員会議室。  
同じ境遇の人同士、ここでしか話せないことを思う存分話しましょう!  
※参加希望者は、お世話係の皆さんに11月19日までに連絡を。

### 各地のお世話係

★困ったり、楽しいことがしたいとき、気軽に連絡を♪

仙台  
埼玉  
埼玉  
静岡  
愛知

広島  
香川  
福岡  
熊本  
長崎

## ★ 一人で悩まず、気軽にお電話ください★

—— 離婚と母子の110番 03-3261-1835 ——

●基本的に毎土曜日:13～17時  
※研修を受けた相談員が「無料」で相談を受けています。

### 面接相談[要予約]

●原則 第1・第3土曜日:14時～と15時半～  
※料金:5,000円/50分(ただし2日前の木曜日から、キャンセル料2,500円が発生します)  
※11月は7日、21日、12月は5日、19日を予定しています。  
※平日に事務局(03-3261-1835)までご予約ください。

### <購読料について>

購読料は次のいずれか。自己管理のもと、期限切れの際にお振込みください。

①1年間3,600円(送料共) ②2年間まとめて前払いの場合、7,200円を6,000円に。 ③出世払い もしくは免除(どうしても苦しい方は、いつでも遠慮なく申し出てください)  
[振込先] 各地の郵便局にて00140-6-120542 ハンド・イン・ハンドの会

### ハンドからみなさんへ発信

ハンド・イン・ハンドの会 公式HP:

http://www.gendai-kazoku.jp

円より子ネット:http://www.madoka-yoriko.jp